

行政手続きのDX	人材育成・確保
デジタルガバメント	サービスデザイン
デジタルデバйд	新技術活用
スマートシティ	デジタル予算

## 1. 都市基礎データ

国名	都市名	人口	面積
フランス	パリ	210万人(2023年)	18,941 km <sup>2</sup>

## 2. 取組内容

## ■ 取組の背景

- 2021年10月にパリ市は新しい自転車計画「PlanVélo2021-2026」を発表。2026年までに100%自転車都市を目指す様々な政策を盛り込む。
- パリ市は2024年オリンピックにて、中心部から15分の場所にオリンピック村を建設し、観客の100%が公共交通機関・自転車・徒歩で会場を移動できるようにすることを計画している。
- フランスでは2019年に「モビリティ指針法」が施行され、既存の公共交通機関に加えて新しいモビリティサービスのオープンデータが義務化

## ■ 具体的な取組

- 住民向けの公共自転車レンタルアプリ「Vélib (ヴェリブ)」を提供。
  - ✓ 1,464のステーション、19,000台の自転車が稼働（内、40%が電気自転車）、登録者は39万人（2022年時点）
  - ✓ 各ステーションの自転車の台数と空きターミナル数をリアルタイムで公開しており、Citymapper等のMaaSアプリとデータ連携している
  - ✓ Géovélo社\*と協業し、ルート計算とGPSナビゲーションの新機能を追加。またオンラインハッカソンを開催し、新サービスの開発を行っている。
- 上記施策に2億5,000万ユーロ（約330億9,500万円）を投資し、パリ市全体の自転車インフラを拡大する予定
  - ✓ 新型コロナ感染拡大時に臨時で設置された52kmの自転車専用レーンを常設
  - ✓ 130kmの自転車専用道路と、390kmの自転車専用レーンを整備



VÉLIB'アプリ

## 3. 関係機関

- Smovengo：Vélib運営会社
- パリ市

## 4. 取組の結果・効果

## ■ 現在までに得られた効果

- パリの自転車専用レーン利用者は新型コロナによるロックダウン以前と比べて60%増加。2021～2023年では71.6%増加した
- 2023年第1四半期は、時間当たりの平均自転車利用数が前年同期比で+37.3%増加した
- パリ市は同市のオープンデータのサイトで、自転車関連データを四半期毎に公表している他、年次でモビリティに関する詳細なレポートを取りまとめ、市内の移動に関する動向を市民に共有している

## ■ 今後期待される効果

- 2023年は45kmを超える自転車専用道路が開通する予定
- 2024年オリンピック大会までに新たに3,000台のVelib自転車が稼働する予定。更に30kmの自動車専用道路を整備し、全長60kmの自転車専用道路が全ての競技場を結ぶ予定

## 5. 東京都への応用の可能性（選定理由）

改正道路交通法（令和5年7月1日）の施行に伴い、東京都を始めとした大都市における安全性を担保したシェアモビリティの利用促進、およびMaaS施策の推進について参考となる。

## 6. 参考URL

Vélib社 (<https://www.velib-metropole.fr/en/service>)  
 パリ市 (<https://www.paris.fr/pages/les-pistes-cyclables-provisaires-vont-devenir-perennes-18264#quel-budget-pour-ces-perennisations>)  
 パリ市オープンデータ (<https://opendata.paris.fr/pages/barometre/>)

\* Géovélo社：自転車向けのルート検索・ナビゲーションアプリを提供しているスタートアップ